

社員の健康が、会社の未来をつくる

～まさかの損失を、いまの投資で未然に防ぐ～

社員の健康は、会社の力。

2人に1人が生涯でがんになり、就労世代でもがんになる人は3割います。
だれがいつがんにかかっても不思議ではありません。

大切な社員を守るためには、がんを早期発見することが何よりも重要です。

がん検診が企業にもたらす3つのメリット

① 健康意識の向上

がん検診を受診することで、自身の健康を考えるきっかけになります。



② 早期発見ができる

早期発見・早期治療により、働きながら治療ができる可能性が高まります。



③ 社員の安心感

「会社が健康を大切にしてくれる」という安心感や信頼につながります。



もし、社員ががんになってしまったら…

調査によると、治療のために53.4%の方が「休職・休業」を経験され、19.4%の方が「退職・廃業」をされている状況があります。

(患者体験調査報告書 令和5年度調査より)

がん検診を受けやすいように支援をして“後悔”を減らしましょう！

社員のために企業ができるサポート例

- ・勤務時間内の受診を許可する
- ・受診費用の補助をする
- ・出前講座などで勉強する
- ・がん検診の重要性を啓発する
- ・検診目的の特別休暇を付与する
- ・事業所健診時にがん検診をセットする
- ・産業保健機関と連携する
- ・会社として健康づくりに取り組む

がん検診は「コスト」ではなく、「未来への投資」です。

貴重な人材を失わないためにも、

がん検診を会社として後押ししませんか？

がん検診で、未来の自分と大切な人を守ろう

～ 今日が、一番がんが小さい日かもしれません ～

社員の方へ

知っていますか？ がん検診の大切さ

- ・がんになる人の3人に1人が、20～64歳の働き盛り世代です。
- ・30～40代では、女性の方ががんにかかる割合が高いです。
- ・がん検診で発見されたがんの約8割は早期がんですが、症状が出てから受診して発見されると早期がんは約4割に減ってしまいます。
- ・「精密検査」まで受診しないとがん検診を受けた意味がありません。忘れずにしっかり受診をしましょう！

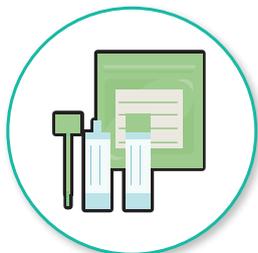


早期発見のために、がん検診を受けましょう
職場で受ける機会のない方は、市町村に確認してみましょう！



胃がん検診

50歳以上
2年1回



大腸がん検診

40歳以上
年1回



肺がん検診

40歳以上
年1回



子宮頸がん検診

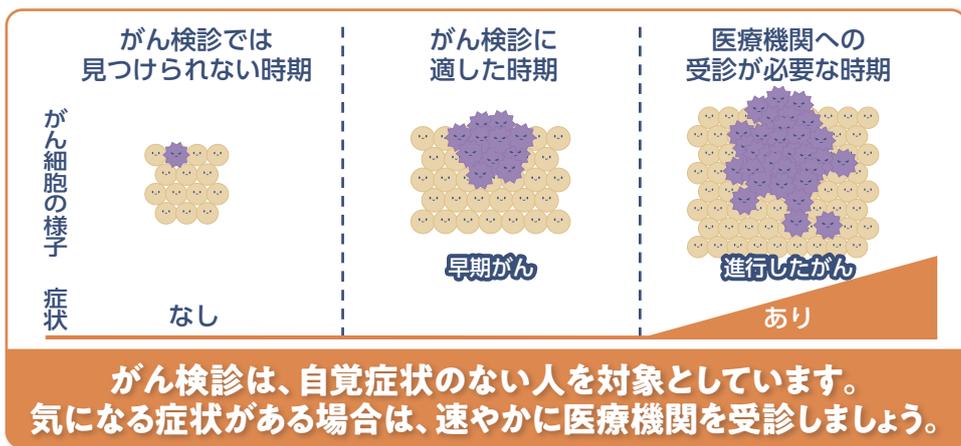
20歳以上女性
2年1回



乳がん検診

40歳以上女性
2年1回

適切な間隔で受診をしよう



がんになった社員の体験談

がん検診で“要精密検査”と判定されていたが、忙しさから受診を先延ばしにしてしまい、1年半後ようやく精密検査を受けたところ“がん”と告げられました。まさか“自覚症状のない自分”が、がんになるなんて思っていませんでした。どうか自覚症状がなくても、“検診・精密検査”を後回しにせず、定期的を受診してください。

今日が、一番がんが小さい日かもしれません。
未来の自分のために、大切な人のために、
「いま」行動してみませんか？

お問い合わせ

島根県 健康福祉部 健康推進課
Tel.0852-22-6701

がん検診の詳しい情報は
しまねのがん対策 で検索

